



えんじゅ

春日市立春日小学校
校長室便り No.10
令和4年9月12日
文責：校長 福島

校長先生 あのね…

先週金曜日の話です。いつものように朝教室を回っていました。つばさ学級に入ると、2年生の子が駆けよってきました。「校長先生あのね、あのね、朝教室に教頭先生が来てくれたんです！」ととてもうれしそうに話してくれました。「ほんとうですか！よかったですね。」笑顔で応えると、安心したように教室の前に駆けて行って朝の会の進行を始めました。

この日、2年生のこの子の学級は担任の先生が休みで、代わりに教頭先生が朝の会に入っていました。普段とは違う刺激的な朝となったのでしょうか。「あのね」という言葉、久しぶりに学校で聞きました。「いい言葉だな」改めて感じると同時にとても心が温くなる朝の出来事でした。

私は教師生活で1度だけ1年生の担任をしました。当時、国語に「先生 あのね」という学習がありました。文字を覚えたばかりの1年生が、表現する喜びを「先生 あのね」という言葉に続いて書いて伝える学習です。「あのねノート」という日記を書かせていました。子供たちは返事を読むのが楽しみで毎日たくさんのことを伝えてくれたことを思い出しました。

昼休みには2人の3年生が校長室に遊びに来ました。「今日の給食の月見っていいですね。わたしは好きです。」「校長先生はあんこが好きです。」「あ、私んなとりとめもない話を話を聞いているとあっとります。「時間ですね。そ「はい。ありがとうございますに校長室を出ていきます。



生が校長室に遊びに来ま団子の中にはあんこが入あんこがきれいなんで大好きです。特につぶあんもつぶあん好きです。」そするのですが、興味深いう間に掃除の時間になうじ頑張っておいで。」いました。」満足したよう

子供たちはみんな心の中に「あのね」があるんだと思います。この2件のように表現できる子もいれば、表現が苦手な子もいます。先生たちにはいつも「ゆとりをもち、子供のサインをキャッチするアンテナの感度を上げてください。」と伝えます。夏休み中には、コーチングといって傾聴のスキルを高める研修を全職員で行いました。話をしっかり受けとめると子供は安心し、心を安定させます。ご家庭でもお子様の「あのね」しっかり受けとめてあげてください。

追伸

今朝教室を回っていると、ある教室の黒板に「HAPPY BIRTHDAY」と書かれていました。後ろの子にこっそり「誰の誕生日なんですか。」と尋ねると「先生です。」と教えてくれました。担任の先生は、「みんなありがとう。私も忘れていました。幸せな1週間の始まりです。」うれしそうに話していました。私も幸せな気持ちになりました。